

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	SORATO (UMIE) いなみ ※UMIEいなみ			
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～	2024年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～	2024年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスとして学習支援に特化し、パソコンやタブレットを多用し利用者の支援を行っています。	一時期児童が取り組まない状況があったが、みんなで意識付けしていくことで取り組む習慣は身に付き、新規で利用の児童もその流れに乗りやすい雰囲気作りができています。	計画的に学習状況把握ができるようになれば、支援のレベルの向上を期待したいところです。
2	放課後等デイサービス単独事業所ではなく、児童発達支援事業所も併設しており、連携して支援しています。	出来る限りスムーズな移行ができるよう、事業所の空き状況が併設している各事業所にもわかるように、情報を定期的に渡すようにしている。また、スプレッドシートにてネット上からも各事業所の空き状況や移行希望者リストを見える化し、事業所間で情報共有している。	放課後等デイサービスUMIEでの利用期間と、児童発達支援のSORATOの利用期間とのタイムラグを小さくできる方向性を探っていきたい。

3	学習支援の他に、二本目の柱として最近ソーシャルスキルトレーニングを行い、生活に必要な技能を学んでもあることに力を入れています。	利用児童とよく話合う場をしっかりと確保できるように、職員間での連携を取りながら時間の確保をしています。	ソーシャルスキルトレーニングのバリエーションを増やすことを考えていきたい。 (例えば、長期休暇時にバスの乗り方、電車の乗り方などについて。)
---	-----------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者がいっぱい送迎可能な枠が限られており、神戸市西区や明石方面の依頼を受けられない状況があります。	一事業所に配置できる人員と利用者数とのバランスが難しい。	送迎のみの人員を入れるか、新規で利用される方にはご家族で送迎をしてもらう、という条件を呑み込んでもらえるか、といったことが課題になってくるのかと思います。
2	職員の一段階上の技能のレベルアップを望んでいきたいです。	障がいのあるお子様の仕事が初めての方もおられるので、初期的な研修の充実をしていくことが重要と考えています。	パート職員も含めて、障がいのあるお子様に対する取り組み方の研修を、YouTubeでわかりやすく説明している動画チャンネルなどを多用し時間を見つけて視聴し、各自で知識を深めてもらいたいと考えています。
3	学校や保護者とのコミュニケーション不足も最近感じていますので、注意していきたいところです。	送迎時間の変更が伝わってなかったり、じっくりと児童に対しての話し合いの場を作ることが共働き世帯も多く、難しいご家庭もあります。	リモートでもいいので話し合いの場を作れるか、検討していくことが必要と感じています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 SORATO (UMIE) いなみ ※UMIEいなみ

公表日 2024年12月27日

利用児童数 29

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92% (26人)	0人	4% (1人)	4% (1人)	保護者様より、「子供が狭いと言っている。」とのコメントあり。	十分な広さの教室に加えて、遊び場所としてのプレイルームも用意し、事業所2つ以上の活動スペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	89% (25人)	0人	0人	11% (3人)	特にご意見はいただいています。	法が定める児童10名に対して職員2名という基準以上の職員配置で、管理者を除き、正規職員2名、非正規職員6名(週に2~4日勤務)を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	96% (27人)	0人	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいています。	高齢者向け診療所を改装し、車いすを使用される方でも利用できる手すり付きのトイレ等、バリアフリーでの対応ができています。また個別学習用に、十分な学習机が用意され、個別療育室も確保しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96% (27人)	0人	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいています。	経年に伴う修理箇所(雨漏り、トイレの水回り関係等)については、その都度対応し、学習と遊びが快適に行えるように努めています。
適 切	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96% (27人)	4% (1人)	0人	0人	特にご意見はいただいています。	連携している相談支援員や、現場内の職種それぞれの目線からも情報交換を行い、最新の情報を集め支援に生かせるようにしています。定期的に研修を行いレベルアップを行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	85% (24人)	11% (3人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいています。	基本的に学習支援を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	100% (28人)	0人	0人	0人	特にご意見はいただいています。	現場職員、相談支援員等と相談し、情報交換を行っています。

切
な
支
援
の
提
供

8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92% (26人)	4% (1人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいていません。	個別に児童の状況を判断し、都度支援の方向性を変更するようにしています。
9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	89% (25人)	7% (2人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいていません。	時間的制限がある中でも、計画書に合わせた支援を行っています。児童の精神状況で変更を余儀なくされる場合もあります。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	75% (21人)	17% (5人)	0人	7% (2人)	特にご意見はいただいていません。	オンラインでのすらら学習、集団療育やソーシャルスキルトレーニング、プレイルームでの遊び、及び祝祭日の外出や提携している駄菓子屋さんにおやつの買い物ツアーなどを行っています。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11% (3人)	4% (1人)	35% (10人)	50% (14人)	特にご意見はいただいていません。	保護者様の意見や事業に置かれている諸条件を考慮に入れても、交流を持つ機会を向けることは難しいと考えています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96% (27人)	0人	4% (1人)	0人	特にご意見はいただいていません。	契約に際しては、重要事項説明書をもとに、時間をかけて十分な説明を行っています。
13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92% (26人)	4% (1人)	4% (1人)	0人	特にご意見はいただいていません。	新規契約時及び更新時期に、原案等をお渡ししてから説明を行い、一旦持ち帰ってもらったうえで計画作成を行っています。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	89% (25人)	0人	0人	11% (3人)	特にご意見はいただいていません。	4事業所が交代で主催する保護者研修会を、3～4か月を目標に当事業所で行っています。

15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	78% (22人)	11% (3人)	0人	11% (3人)	特にご意見はいただいています。	ほぼ全員LINEにて連絡出来る体制を作っています。また訪問看護師による聞き取り調査も行っています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50% (14人)	18% (5人)	21% (6人)	11% (3人)	祝日のみの利用なので特に希望していません。今後も機会があればいいと思います。	児童の状況により担当者会議の実施を、関係者に呼びかけて開催するようにしています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	86% (24人)	7% (2人)	0人	7% (2人)	特にご意見はいただいています。	状況により共感出来るところは共感し、考えを変えないといけないところは言葉に注意して支援の提案行っています。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、兄弟向けのイベントの開催等により、兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、兄弟への支援がされていますか。	21% (6人)	15% (4人)	21% (6人)	43% (12人)	研修会に参加することで情報交換できているので今のままでいいです。	定期的に行っている保護者研修会で貴重な意見交換の場を設けることができます。ここで得た情報をご家庭でも生かしていることと考えています。
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81% (23人)	4% (1人)	4% (1人)	11% (3人)	特にご意見はいただいています。	送迎時や随時LINEで連絡を取る中で、特別に申し出があれば時間を調整し、話し合いの場を設けるようにしています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92% (26人)	4% (1人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいています。	児童とは各職員が担当になった児童と随時コミュニケーション取っています。また、ほぼ全員LINEによる連絡体制を取り、リアルタイムで情報交換をしています。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	71% (20人)	0人	4% (1人)	25% (7人)	HPに記載されているが、更新時にLINEでリンク付きで通知が来るといいなと思った。	ある程度LINEやメールを多用して情報を交換しているが、一元化して更新時に通知できるかは今後検討が必要と考えております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	75% (21人)	4% (1人)	0人	21% (6人)	特にご意見はいただいています。	契約時に個人情報の管理は注意していることを伝えていますが、また会議でも職員に周知しています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	61% (17人)	0人	4% (1人)	35% (10人)	訓練時、親も見学出れば良いと思った。	各種マニュアルに関しては策定して事業所内で掲載、保管しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	57% (16人)	0人	0人	43% (12人)	特にご意見はいただいていません。	災害時の訓練は定期的に行い、その様子に関しては開催があれば随時Instagramの様子をアップしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	70% (20人)	11% (3人)	4% (1人)	15% (4人)	特にご意見はいただいていません。	児童や保護者様に対して周知が不十分な点も考えられますので、一層の周知の方法を考え直すことも必要と考えています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	79% (22人)	4% (1人)	0人	17% (5人)	特にご意見はいただいていません。	契約時に事故などの緊急事態が発生した場合、救急連絡のうえ搬送先の病院が決定次第、近況の連絡を入れる段取りは説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	89% (25人)	7% (2人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいていません。	利用中の児童は、毎回落ち着いて利用されている方がほとんどです。当日のメンタル面で影響する方もいます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	81% (23人)	15% (4人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいていません。	保護者様より児童が利用を楽しみにされているとのお話は、よく送迎時やLINEで伺っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	92% (26人)	4% (1人)	0人	4% (1人)	特にご意見はいただいていません。	毎回、楽しく過ごしてもらえるように工夫していますが、最低限のルールを守れることについては注意して支援を行っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SORATO (UMIE) いなみ ※UMIEいなみ			公表日	2024年12月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% (8人)	0人	出来るだけ利用者が分散して支援ができるように工夫しています。	支援スペースが広めな為、メンタル面で不安定になっている児童については対応の工夫が必要になります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100% (8人)	0人	法廷で定められた職員を配置しています。	一時的に人員が少なくなることもありますが、できる限り支援を工夫して乗り切っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100% (8人)	0人	高齢者向け診療所を改装し、車いすを使用される方でも利用できる手すり付きのトイレ等、バリアフリーに対応できています。また個別学習用に、十分な学習机が用意され、個別療育室も確保しています。	現状で対応できていると考えていて、改修などの予定はありません。経年劣化による不具合に関してはその都度を対応行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (8人)	0人	経年に伴う修理箇所（雨漏り、トイレの水回り関係等）については、その都度対応し、学習と遊びが快適に行えるように努めています。	教室は学びの場所、プレイルームは遊ぶ場所と、役割による使い分けを継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (8人)	0人	個別療育室の設置をしていて、状況に応じた運用をしています。	現状で対応できていると考えていて、改修などの予定はありません。経年劣化による不具合に関してはその都度を対応行っています。
*	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (8人)	0人	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。	引き続き、ムダ・ムリ・ムラの軽減に取り組み、業務の効率化に努めたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0人	100% (8人)	保護者向けの評価表の作成はしていませんが、こまめにLINEやメールの多用により、要望を聞く窓口を設けています。	現状のシステム運用で十分要望を受け入れ、調整していくことは可能と判断しています。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (8人)	0人	毎回、支援開始前にパート職員が揃い次第ミーティングを行い、意見交換の場を設定しています。	貴重な時間でもあるので今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0人	100% (8人)	第三者評価は、まだ取り入れていません。	現時点では、第三者評価制度の活用は考えていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (8人)	0人	外部研修への参加や、職員間で毎月内部研修を行っています。	現状の研修制度で十分と判断しています。また今後、保護者向け研修の内容や開催方法については改善していくことの必要性を考えています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (8人)	0人	協調性を重視しソーシャルスキルトレーニングにつながるように企画しています。	支援の様子については、その都度Instagramに個人が特定しにくいように加工して、広く公表しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100% (8人)	0人	計画書を更新する際に、職員や保護者様と意見交換を行い、作成するようにしています。	保護者様との直接的な意見交換ができる場を作りたいが、共働きのご家庭が多く、スケジュール調整が困難な面が表面化しています。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (8人)	0人	毎日行っている職員のミーティングにて、意見交換の検討の場を設定しています。	今後もこのような場を大切に、支援に繋げていければと考えています。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (8人)	0人	支援開始前に毎回ミーティングを行い、必要な情報があれば意見交換を行うようにしています。	今後も継続していく考えです。

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (8人)	0人	事業所での様子を見て、ご家庭での習い事の負担があるようなら、保護者様に連絡しバランスを考えてもらうように提案しています。	今後も事業所での利用児童の支援状況により、保護者様との連絡を密にしていきます。
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (8人)	0人	事業所の支援方針と今回計画書の書式変更に伴い、それぞれの児童が必要とされている支援内容を再検討を行い、新しい計画書の書式に順次落とし込んでいきます。	計画書の内容について、なるべくわかりやすく端的にまとめて行くことが重要と考えて作成してまいります。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (8人)	0人	正規職員が企画を出し、パート職員にも意見を聞いたうえで、出来る限り全員で立案することを前提に行っています。	現状、いい環境で支援を行えているので、今後も継続しながら、問題点が出た時には微調整していくことにします。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (8人)	0人	オンラインでのすらら学習、集団療育やソーシャルスキルトレーニング、プレイルームでの遊び、及び祝祭日の外出や提携している駄菓子屋さんにおやつのお買い物ツアーなどを行っています。	新規の外出行事先や買い物について、別の場所が可能なか検討しながら変化をつけていきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100% (8人)	0人	集団療育、および外出行事や買い物など、状況をソーシャルスキルトレーニングと考え、計画書に順次盛り込み支援行っています。	ソーシャルスキルトレーニングについては、今後も力を入れて支援を継続していくことは重要と考えています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (8人)	0人	毎回支援開始前にミーティングを行い、今日の予定から児童の気になっていることの他に、また様々な事務的な報告を行っています。	一律に職員が揃う場なので、今後もこの時間を大切にしています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75% (6人)	25% (2人)	支援終了後はすぐに送迎業務があり、担当する方面によって勤務終了時間が一律では無いため難しいが、残っている数人の職員とは、その日のうちに話し合いをすることはあります。	支援前に行っているミーティングで十分と考えています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (8人)	0人	障害児通所施設支援システム「メイブル日誌Ⅲ」を使い、毎日、必要な入力項目への記録に努めています。	現在の取り組みを継続していきます。

23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (8人)	0人	半年ごとに行っています。	現在の取り組みを継続していきます。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100% (8人)	0人	学習支援等やソーシャルスキルトレーニングで自立を目指し、余暇時間等で創作活動などを行っています。	地域交流に関しては保護者様の様々な意見もあり、実施については一定のハードルがあり難し状況です。
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (8人)	0人	今日の宿題の行う順番などは、利用児童に決めるようにしてもらっています。また、余暇時間に提供できる内容も、選択できるように問いかけるようにしています。	自主的に物事ができるようになることは重要と考えますので今後も続けていきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (8人)	0人	担当者会議の打診があれば、現場の意見を聞いて児童発達支援管理責任者が参加するように勤務を調整しています。	現在の取り組みを継続していきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0人	100% (8人)	役所や学校、相談支援事業所、家庭と出来る限りの情報交換を行っています。	主治医などの医療機関とは直接的な連携は取りにくく、必要な場合はご家族を通して行っています。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0人	100% (8人)	地域の児童発達支援センターとは直接お話することはありませんでした。	今後、可能かどうか検討していきます。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0人	100% (8人)	保護者様がそれを望んでおられることもないので難しいと考えます。	今後、可能かどうか検討していきます。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (8人)	0人	課題が発生した場合、送迎時に意見交換や直接の電話やLINEを多用しています。	現在の取り組みを継続していきます。

31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100% (8人)	0人	各事業所が持ち回りで3～4か月に一回、土曜日に保護者向け研修会を開催しています。	現在の取り組みを継続していきます。
32	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
34	【 <u>児発センターのみ</u> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【 <u>児発センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100% (8人)	0人	利用者が当月いつ事業所利用しているかや、送迎時に遅れが出る場合は、早めに連絡を取るなど適時行っています。	一部、下校時間の変更の情報が事業所に回ってこないことがあります。
38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	87.5% (7人)	12.5% (1人)	児童発達支援事業所と併設しているので、UMIEに移行の場合は、情報を聞ける体制ができています。	現在の取り組みを継続していきます。

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	87.5% (7人)	12.5% (1人)	提供することは可能だが、現状対象となる児童が存在していません。	必要な場合があれば対応できるようにしています。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	87.5% (7人)	12.5% (1人)	事業所内で勤務の調整を行い、なるべく参加の方向で対応しています。	現在の取り組みを継続していきます。
保護者への説明	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (8人)	0人	見学時や、契約時に実施しています。	現在の取り組みを継続していきます。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (8人)	0人	出来るだけ相談支援員や現場の各職員からの意見も聞き、計画書作成を行うようにしています。すべてを選択するわけにはいかなので必要最低限の項目を盛り込むようにしています。	現在の取り組みを継続していきます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (8人)	0人	原案の段階で保護者様に渡し、意見交換の期間を設けています。	ご意見ある場合、計画書修正のうえ正式な書面を発行しています。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (8人)	0人	送迎時における対面時など、保護者様からの要望に対応できる体制はできています。	現在の取り組みを継続していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	87.5% (7人)	12.5% (1人)	保護者向け研修会の開催を通して、相談できる場を設けています。	現在の取り組みを継続していきます。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (8人)	0人	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっています。ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに応えるように努めています。	現在の取り組みを継続していきます。

等

47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (8人)	0人	現時点では、会報等の発行は行っていません。	現在Instagramで、プライバシーに配慮した形での情報発信を行っています。今年度より祝祭日の外出行事を行っているので、最低でも半月前に保護者に案内メールを行っています。
48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (8人)	0人	個人情報は、契約時に説明した通りに取り扱っています。	現在の取り組みを継続していきます。
49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (8人)	0人	スマホを用いた連絡ノートでのやり取りの他に、メール、電話など、保護者にとって利便性の高い方法で情報共有できるようにしています。	現在の取り組みを継続していきます。また個別でLINEで繋いでもらい、気軽に素早く連絡体制が取れるように随時構築しています。
50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0人	100% (8人)	事業所の行事に地域の住民を招待することは、開設以来ありません。	検討していく課題の一つとは考えますが、緊急性は感じていません。
51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (8人)	0人	様々な相談事があれば、その都度LINEかメールにて内容を送ってもらい、都度対応しています。	現在の取り組みを継続していきます。
52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (8人)	0人	各種マニュアル類の整備については、従来より法人で準備された物があり、契約時にその旨説明を行っています。	現在の取り組みを継続していきます。
53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (8人)	0人	作成しています。火災訓練を兼ねた救出訓練は行っています。	地震等での設定は行ってないので、今後の検討課題ではあると思います。
54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (8人)	0人	契約時に、健康面の確認をしています。	現在の取り組みを継続していきます。

非常時等の対応	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (8人)	0人	契約時に、各種アレルギーの有無の確認をしています。	現在の取り組みを継続していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (8人)	0人	併設している事業所内で主催する事業所を持ち回り担当しながら、避難訓練等を実施しています。	現在の取り組みを継続していきます。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100% (8人)	0人	契約時に緊急連絡先を聞きまた可能な限りLINEを繋いでもらい、即時対応できるようにしています。	現在の取り組みを継続していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (8人)	0人	ヒヤリハットについては、障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」内に、電子的に記録しています。	現在の取り組みを継続していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (8人)	0人	ミーティングで実施しています。また外部研修に定期的に参加しています。	現在の取り組みを継続していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (8人)	0人	身体的拘束の必要性に迫られる場面はなく、そうした対応が必要な利用児童はいません。個別療育室や廊下での声掛けを中心としたマンツーマン対応を行っています。	現在の取り組みを継続していきます。